

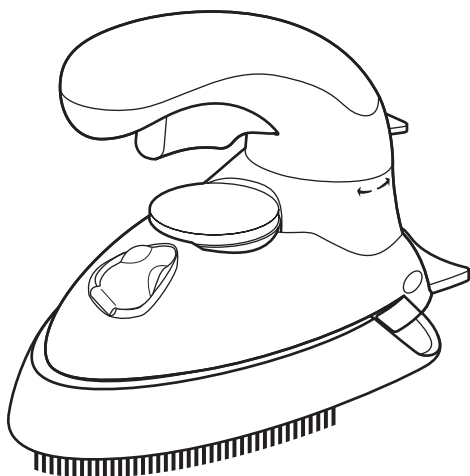
コンパクトスチーマー&amp;アイロン

品番 **GC-J13**

# 取扱説明書

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に「取扱説明書」を最後までよくお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保存してください。

**家庭用**

## もくじ



- ◆安全上のご注意 ……………2
- ◆ご使用にあたってのお願い ……4
- ◆繊維製品の表示と温度設定 ……5
- ◆各部の名称 ………………6
- ◆上手な使いかた ………………7
- ◆使いかた ………………8
- ◆お手入れ ………………16
- ◆修理を依頼される前に ……18
- ◆消耗・交換部品 ………………19
- ◆仕様 ………………19
- ◆保証とアフターサービス ……20

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源、電圧が異なりますので使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)





# 安全上のご注意









ご使用の前に必ずお読みください。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

\*ここに示した注意事項は、本製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を『危険』と『警告』、『注意』に区分しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## 図記号の意味と例

	 記号は、「してはいけないこと」を意味しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)が描かれています。
	 記号は、「しなければならないこと」を意味しています。 図の中に具体的な指示内容(左図は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

 <b>警告</b>	
 <b>禁止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体のすきまにピンや針金などの異物を入れない 感電やけが、火災の原因になります。</li> <li>● 本体に乗らない けがの原因になります。</li> <li>● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</li> </ul>	 <b>使用禁止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供だけで使用させたり幼児の手の届く範囲で使用しない 感電・けがの原因になります。</li> <li>● 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。</li> <li>● 交流 100V 以外では使用しない 火災・感電の原因になります。</li> </ul>
 <b>水ぬれ禁止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災の原因になります。</li> </ul>	 <b>単独で使用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使用する 他の機器と併用すると、発熱により火災・故障の原因になります。</li> </ul>
 <b>ぬれ手禁止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</li> </ul>	 <b>分解禁止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(→20 ページ参照)</li> </ul>
 <b>プラグを抜く</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてから 感電・けが・やけどの原因になります。</li> <li>● 異常時(こげくさいなど)は、運転を停止して差し込みプラグを抜く 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(→20 ページ参照)</li> </ul>	

メッシュ状のアイロン台は、スチームがアイロン台を通り抜けてしまう場合がありますのでやけどにご注意ください。

# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

- **不安定な場所には置かない**  
転倒してけがややけどの原因になります。
- **ベンジンやシンナーでふいたり、殺虫剤をかけたりしない**  
ひび割れによるけが・ショートによる感電・引火による火災の原因になります。
- **かけ面を接触させたまま放置しない**  
火災の原因になります。
- **熱いアイロンに電源コードを巻きつけない**  
ショートや発火の原因になります。
- **スチームを手やひざにかけない**  
やけどの原因になります。
- **高温部(かけ面、スタンド、スチーマーブレード、水タンクの下部)に手を触れない**  
やけどの原因になります。
- **アイロン通電中はアイロンから離れない**  
漏電や火災の原因になります。
- **アイロンのハンドル部分は強い力で押さえすぎない**  
破損の原因になります。
- **直射日光の当たるところに置かない**  
変形・変色の原因になります。



禁止



プラグを抜く

- **差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く**  
コードが劣化してショートや発火の原因になります。
- **使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く**  
けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
- **長期間で使用にならないときは必ず差し込みプラグをコンセントから抜く**  
火災の原因になります。



使用禁止

- **油成分が浮遊している場所では使用しない**  
ひび割れによるけがの原因になります。
- **浴室など高温・多湿・水のかかる場所では使用しない**  
漏電して感電・火災の原因になります。
- **アイロンの近くで可燃性ガス(ベンジンなど)が発生するものを使用しない**  
火災や故障の原因になります。
- **脱水直後の衣類などにアイロンがけをしない**  
蒸発した水分がアイロン内部に入り。故障の原因になります。

### ● ときどきは電源コンセントや差し込みプラグの点検を

コンセントにほこりがたまっていると湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグが外れかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。

#### ◆ 思わぬ事故を防ぐために・・・

- コンセントの周りにほこりをためないようにときどき掃除をする。
- 差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。



プラグの点検

# ご使用にあたってのお願い

## 故障や事故などを防ぐために、必ずお守りください。

- 本製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
- ボタン・ファスナーなど、固いものにアイロンがけをしないでください。  
※かけ面が傷つき、すべりが悪くなります。
- 水の補充は、付属の計量カップを使用し、MAXライン（40ml）を超えないようにしてください。  
※水があふれ、故障の原因になります。
- 水道水以外の液体（ミネラルウォーター・香料など）を水タンクに入れないでください。  
※水タンクの破損やスチーム穴の目詰まり、衣類を汚す原因になります。
- スチームアイロンとしてご使用になるときは、スプレーのりを使わないでください。  
※アイロンのすべりが悪くなります。
- 通電直後にスチームレバーを操作しないでください。  
※温度が上がる前にスチームレバーを操作すると、かけ面から水がもれることがあります。
- スチームレバーは2秒程度の間隔をあけて操作してください。  
※間隔をあけずに連続してスチームレバーを操作すると、湯滴が噴き出してやけどの原因になります。
- 使用後に製品を移動する場合は、本体が十分に冷めてから移動してください。  
※やけどやけがの原因になります。
- ハンドルを回したりスチーマーブラシを取り付けたり取り外したりする場合は、本体が十分に冷めてから行ってください。  
※特に使用直後はやけどやけがの原因になります。
- 幼児の手の届くところに放置しないでください。  
※特に使用直後はやけどやけがの原因になります。




### 【お知らせ】

アイロンのタンク内部に微量の水滴が残っている場合がございますが、これは製造工程上での通水検査にともなうものでございます。異状ではございませんので、ご安心のうえお使いいただきますようお願い申し上げます。




# 繊維製品の表示と温度設定

- おかけになる布地に日本工業規格 (JIS) で定められた絵表示がある場合は、絵表示にしたがって、温度調節をしてください。

## 絵表示と温度の関係

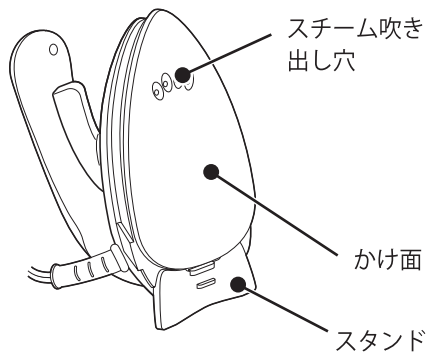
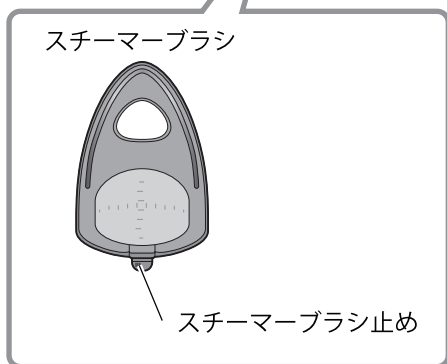
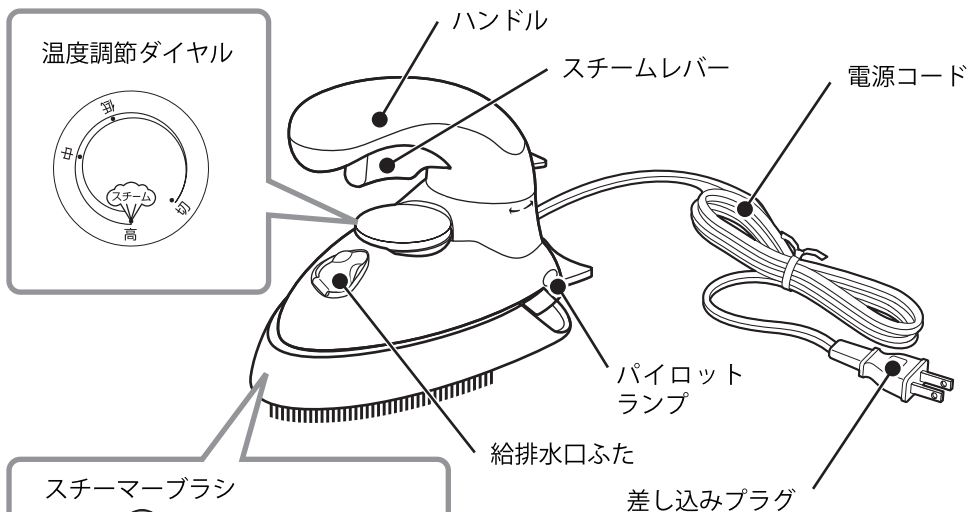
繊維製品の 絵表示	 低	 中		 高
衣類・布地の 種類	アクリル・アクリル系・ポリウレタン・ポリプロピレン	絹・ナイロン ・ビニロン・レーヨン ・キュプラ ・ポリエステル	毛	綿 麻
温度設定位置	低	中	中・高の中間	高
かけ面の温度	約80~100℃	約120~140℃	約140~160℃	約175~195℃
設定温度になるまでの時間	約 22 秒	約 29 秒	約 38 秒	約 46 秒

## 絵表示の見かた

	〜線は指示温度で当て布をする意味です。
	指示温度で布地の裏からかける意味です。
	アイロンかけはできません。
その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。	

- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 絵表示のない場合は、繊維名にしたがって、温度を合わせてください。
- 使用中にアイロンを止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度でも布地を傷める場合がありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維（化繊・絹・毛など）にアイロンをかけるときは、あて布をするか、目立たない部分にためしがけをして、異常のないことを確認してからかけてください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンをかけないでください。
- 混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。

# 各部の名称



# 上手な使いかた

## アイロンの上手な使いかた

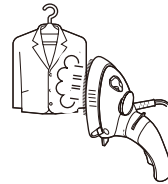
- アイロンを往復させると衣類に余分なシワができますので一定方向に動かしてください。
- 折り目を付けたい場所やガンコなシワの部分は、しっかりと押し付けアイロンがけします。
- 高温で使用した後は、温度が下がりにくいため、低い温度設定の衣類から順にかけるようにします。衣類を傷めることなく、効率的にアイロンがけできます
- スプレーのりを使用する場合は、スチームを使用せず必ずドライアイロンとしてアイロンがけします。
- アイロン台はスチームがよく通るものをご使用ください。衣類へのスチームの通りがよくなり、きれいな仕上がりになります。  
※通り抜けたスチームでやけどの恐れがありますのでご注意ください。
- 毛足の長い繊維は、かけ面を衣類に当てず、浮かせてスチームを当てるようにしてください。



一定方向に動かす

## スチーマーの上手な使いかた

- 背広などの上着は、ハンガーにかけた状態で衣類の裾、袖の端を引っ張りながら、軽くブラシをかけるようにスチームを当てます。
- シワがとれにくい場合は、スチーマーを衣類に近づけて、スチームを多めに吹き付けてください。
- 毛足の長い繊維はスチーマーを衣類から少し離して、スチームを吹き付けた後、ブラシがけをしてください。
- 衣類についた匂いなどが気になる場合は、衣類全体にスチームを吹きかけてから陰干ししてください。高温スチームの力で匂いを取ります。
- カーテンやカーペットなど、日常的に洗濯できないものにスチームを当てると、匂い取りの効果があります。シワ取りやくせ取りにもご使用になれます。
- スチーマーではシワが取れにくい綿や麻などの繊維は、霧吹きをして、ドライアイロンがけすることをおすすめします。

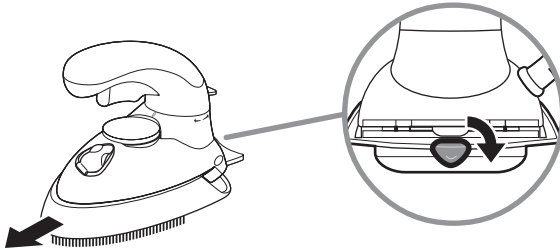


ブラシをかけるように  
スチームを当てる

# 使いかた

## アイロンとしての使いかた

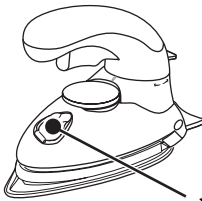
- ① スチーマーブラシをかけ面から取り外します。



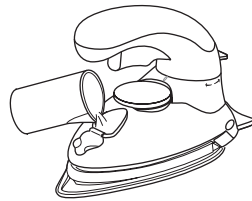
スチーマーブラシ止めを回して外します。

**かけ面の温度が高いときはスチーマーブラシの脱着をしない。**

スチームを使用する場合は、差し込みプラグをコンセントに差し込む前に、付属の計量カップを使用して、水道水を給排水口から入れ、ふたを閉じます。



給排水口ふた



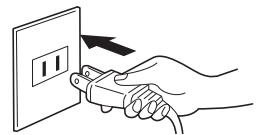
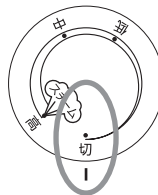
必ず付属の計量カップを使用して、水道水を給水してください。

※ミネラルウォーターや香料などは入れないでください。

※計量カップのMAX表示(40ml)を超える水は入れないでください。

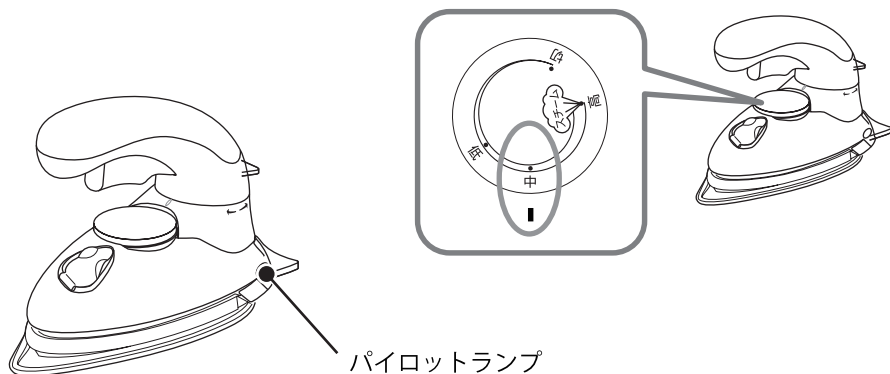
※給排水口ふたはしっかりと閉じてください。(水漏れの原因になります)

- ② 温度調節ダイヤルが「切」になっていることを確認して、差し込みプラグをコンセントに差し込みます。





- ③ 温度調節ダイヤルを回して布地に適した温度に合わせます。

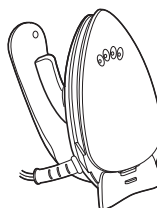


パイロットランプが点灯して、かけ面の温度が上昇します。設定温度になるとパイロットランプが消灯して、アイロンがけの準備が整ったことをお知らせします。

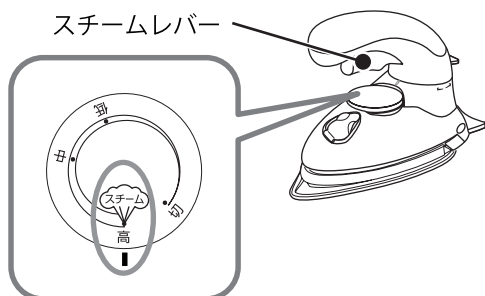
※設定した温度を一定に保つため、温度調節機能で自動的に電源のオン・オフを繰り返しています。この電源のオン・オフに伴ってパイロットランプも点灯・消灯を繰り返します。

**【重要】**

ご使用中、ご使用後のアイロンは必ず立てた状態を保持してください。

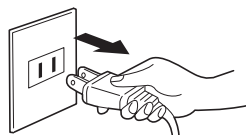
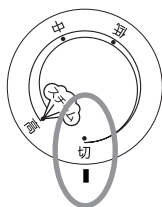


- ④ スチームを使用するときは、温度調節ダイヤルをスチームの位置にして、スチームレバーを約2秒間隔で繰り返し操作しながら使用します。

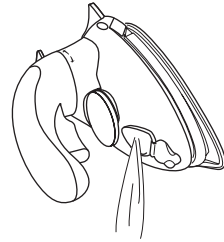
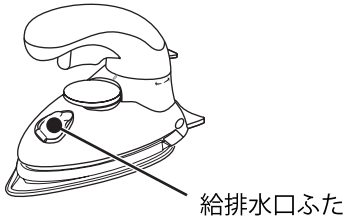


間隔をあげずに連続でスチームレバーを操作すると湯滴が噴き出し、やけどの原因になります。

- ⑤ 使用後は温度調節ダイヤルを「切」にし、差し込みプラグをコンセントから抜きます。



- ⑥ スチームを使用した場合は、アイロンが十分に冷めてから、給排水口ふたを開いて、タンク内に残った水を排水します。

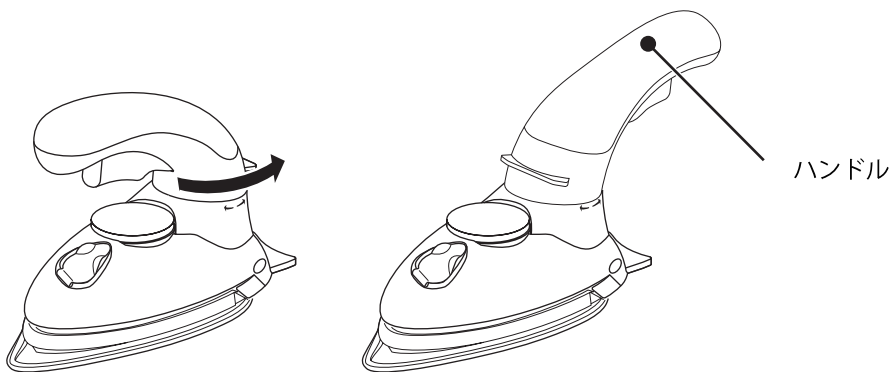


排水の時は水が本体にかからないように排水してください。

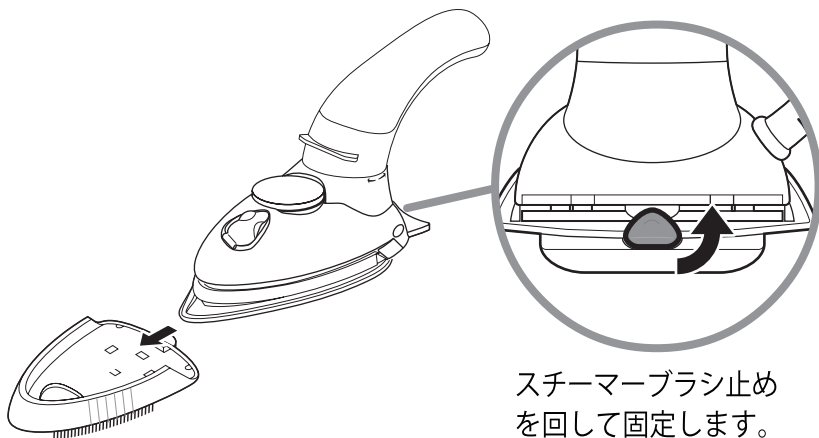
# 使いかた

## スチーマーとしての使いかた

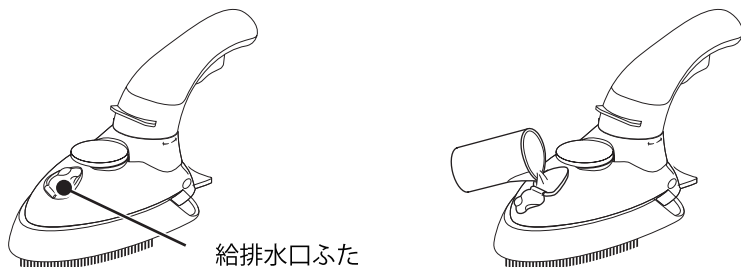
- ① ハンドルを回し、スチーマーブラシをかけ面に取りつけます。  
ハンドルは矢印の方向に 180° 回転します。逆方向に回さないでください。故障の原因になります。



かけ面の温度が高いときはスチーマーブラシの脱着をしない。

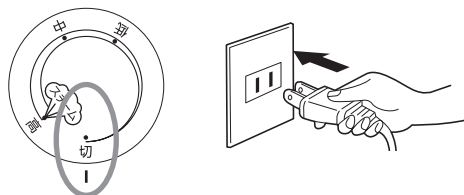


- ② 差し込みプラグをコンセントに差し込む前に、水道水を給排水口から入れ、ふたを閉じます。



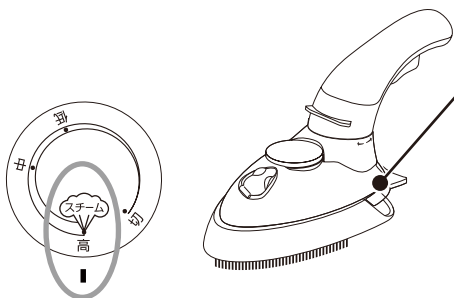
- 必ず付属の計量カップを使用して、水道水を給水してください。  
 ※ミネラルウォーターや香料などは入れないでください。  
 ※計量カップの MAX 表示 (40ml) を超える水は入れないでください。  
 ※給排水口ふたはしっかりと閉じてください。(水漏れの原因になります)

- ③ 温度調節ダイヤルが「切」になっていることを確認して、差し込みプラグをコンセントに差し込みます。



- 温度が上昇する前（パイロットランプが消灯する前）にスチームレバーを操作すると、スチームの吹き出し穴から湯滴が出て、やけどや衣類を汚す原因になります。
- 前回使用したときの水がタンク内に残っている場合、電源を入れたときにスチームの吹き出し穴からスチームが噴き出す場合がありますのでご注意ください。
- 初めてご使用になる場合や長期間ご使用にならなかった場合は、スチームが出づることがあります。スチームレバーの操作を数回繰り返すと正常な状態になります。
- 着たままの衣類へはご使用にならないでください。やけどの原因になります。
- 革製品や着物へはご使用にならないでください。衣類を傷める原因になります。
- ご使用後のスチーマーブラシは熱くなっておりますので、取り扱いにご注意ください。

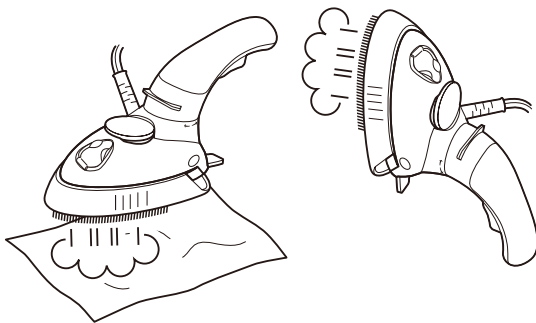
- ④ 温度調節ダイヤルを「スチーム」に合わせます。(パイロットランプが点灯して本体の温度が上昇します)



パイロットランプ

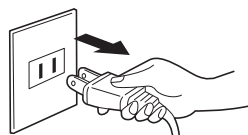
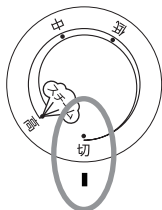
設定温度になると、パイロットランプが消灯してスチーマーの準備が整ったことをお知らせします。

- ⑤ 本体を水平またはハンドルが下になるように垂直にして、スチームレバーを約2秒間隔で繰り返し操作しながら使用します。

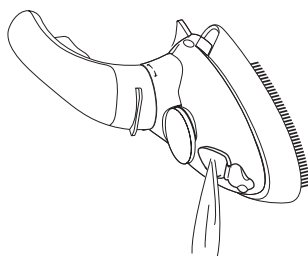
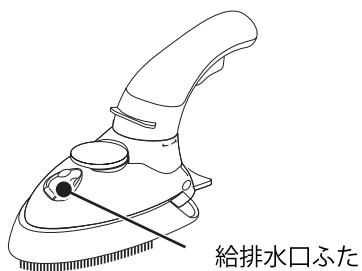


間隔をあげずに連続でスチームレバーを操作すると湯滴が噴き出し、やけどの原因になります。

- ⑥ 使用が終わったら温度調節ダイヤルを「切」にし、差し込みプラグをコンセントから抜きます。



- ⑦ アイロンが十分に冷めてから、給排水口ふたを開いて、タンク内に残った水を排水します。



排水の時は水が本体にかからないように排水してください。

# お手入れ



お手入れの前に、必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、アイロンが十分に冷めていることを確認する  
感電・けが・やけどの原因になります。

## 本体のお手入れ

- 水またはぬるま湯でうすめた台所用の中性洗剤を含ませて、かたく絞ったやわらかい布で汚れを拭き取った後、乾いた布で水分を拭き取ってください。

- 製品本体に水をかけないでください。故障や感電の原因になります。
- シンナー・ベンジン・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。変形・変色の原因になります。

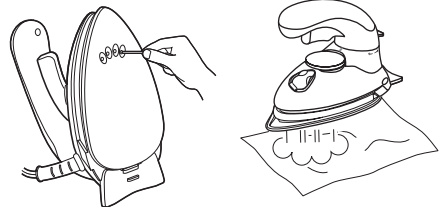
## かけ面のお手入れ

- スプレーのりをご使用になった後は、水またはぬるま湯を含ませた布で、その都度かけ面を拭いてください。のりが付着したままでご使用を続けると、かけ面が焦げたりする場合があります。

- 金属ブラシや磨き粉でかけ面のお手入れをしないでください。かけ面が傷みます。

## スチーム吹き出し穴のお手入れ

- つまようじなどでゴミやほこりを取り除き、ご不要の布地などへ、数回スチームを吹き付けてください。

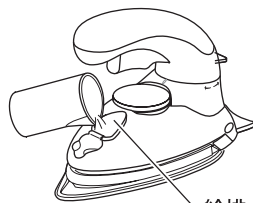


- 金属製のピンや針などを使用しないでください。かけ面を傷つける原因になります。



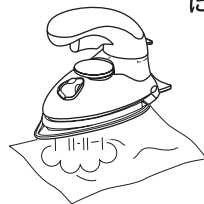
## アイロン内部のお手入れ

- ご使用回数 10 回に 1 回程度、差し込みプラグをコンセントから抜いた状態で、計量カップ 1 杯分（約 40ml）の水道水を水タンクに補充し、不要なタオルなどの布地にスチーム吹き出し穴を向け、スチームレバーを連続で操作してください。  
アイロン内部に付着した水あかが水に流され、スチーム吹き出し穴から水滴とともに排出されます。
- 洗浄後は、差し込みプラグをコンセントに差し込んで、温度調節ダイヤルを「スチーム」の位置に合わせてアイロン内部を乾燥させてください。  
電源を入れると、スチーム吹き出し穴からスチームと湯滴が噴き出しますので、アイロンのかけ面を不要な布地に向けてください。



給排水口ふたを外して水道水を入れ、ふたを閉じます。

水は MAX 表示の位置以上に入れないでください。



- お手入れの後は、アイロンのかけ面などに湯滴が残りますので、水分をよく拭き取ってください。

### 【お知らせ】

上水道の水は、カルシウムなどのミネラル分を含んでおり、ご使用に応じて水あかとしてアイロン内に残っていきます。水あかのお手入れをしないでご使用を続けると、目詰まりして、スチームが出なくなる原因になります。

## 保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、お手入れの後、ご購入時の梱包箱に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。

- 使用直後はかけ面が熱くなっておりますので、十分に冷めていることを確認して保管してください。

# 修理サービスを依頼される前に

## 警告

修理技術者以外の方は分解したり修理をしない

火災、感電、けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。

修理サービスを依頼される前に次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	なおしかた
熱くならない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 差し込みプラグがコンセントから抜けていませんか？</li><li>● 温度調節ダイヤルが「切」になっていませんか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 差し込みプラグをしっかりと差し込んでください。</li><li>● 温度調節ダイヤルを布地にあった温度に合わせてください。</li></ul>
スチームが出ない、少ない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 温度調節ダイヤルがスチームの位置になっていますか？</li><li>● 水タンクに水は入っていますか？</li><li>● スチーム吹き出し穴が詰まっていますか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ダイアルをスチームの位置にしてください。</li><li>● 計量カップを使い水を入れてください。</li><li>● お手入れのしかたにしたがって掃除をしてください。</li></ul>
スチーム吹き出し穴から湯滴が出る	<ul style="list-style-type: none"><li>● 温度調節ダイヤルの位置が違っていませんか？</li><li>● 温度が上がる前に使用していませんか？</li><li>● スチームレバーを連続して早く操作していませんか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ダイアルを正しい位置に合わせてください。</li><li>● パイロットランプを確認して温度が上がるまで待ってください。</li><li>● 2秒程度の間隔でスチームレバーを操作してください。</li></ul>
かけ面のすべりが悪い	<ul style="list-style-type: none"><li>● かけ面が汚れていませんか？</li><li>● スプレーのりを使用した布地にスチームしていませんか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● お手入れのしかたにしたがって掃除をしてください。</li><li>● ドライアイロンがけをしてください。</li></ul>
布地が焦げる、縮む	<ul style="list-style-type: none"><li>● 布地に合った温度調節がされていますか？</li><li>● 高い温度に設定されていませんか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 温度調節ダイヤルを布地にあった位置に合わせるか、あて布をしてください。</li></ul>

# 消耗・交換部品

消耗・交換部品のお求めは、お買いあげの販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。(→20ページ参照)

名 称	品 番
スチーマーブラシ	EX-3036-00
計量カップ	EX-3037-00
収納用布袋	EX-3038-00

# 仕様

品 番	GC-J13	電源コードの長さ	約 2.5m
蒸気発生方式	滴下式	質 量	630g (スチーマーブラシ含む)
水タンク容量	40ml	外形寸法	170(W)×105(D)×135(H)mm
かけ面の面積	約 85cm <sup>2</sup>	付 属 品	計量カップ (1) 収納用布袋 (1)
消費電力	700W		
温度過昇防止装置	温度ヒューズ 240℃		

# 保証とアフターサービス

## 1 この製品には保証書がついています。

保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

## 2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 3 保証期間後の修理は・・・

販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この製品についてのご質問は

株式会社 **シー・シー・ピー** 八潮サービスセンター

〒340-0801 埼玉県八潮市八條1477 (名鉄運輸 八潮営業所内)

TEL. 048-933-3388 / FAX. 048-933-3372

営業日 月曜～金曜 (但し、祝日は除きます。)

お電話受付時間 9:30～17:00

## 愛情点検

## 長年ご使用のアイロンの点検を!



### このような症状はありませんか?

- 電源を入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐさまご使用を止めていただき、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。



株式会社 **シー・シー・ピー**

本社: 〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4

TEL. (03)5806-3507(ダイヤルイン)

大阪支店: 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-8-14 肥後橋SKビル4階

TEL. (06)6444-2122 (代)